

平成 21 年 10 月 29 日

各位

(社)雨水貯留浸透技術協会

プラスチック製地下貯留浸透施設への埋設表示の御願い

近年、気候変動に伴う集中豪雨により、都市型洪水等が頻発し、流出抑制対策の必要性が一層高まっております。又、都市部に於ける市街化や舗装面積の拡大に伴い、ヒートアイランド現象や湧水の枯渇等、水循環系の悪化が懸念されております。

こうした現象に対処するため、雨水をオンサイトで貯留・浸透させる必要性が認められ、更には上面利用を可能にすることから、地下貯留浸透施設は飛躍的にその設置数が増大し、とりわけプラスチック製の貯留・浸透施設は、ここ10年ほどで累計約200万㎡分が設置されています。

しかしながら、ショッピングセンターやマンションの駐車場、校庭や公園の地下等に設置された施設が、工事中或いは完工後に、想定を超える荷重により陥没したり、上面での焚き火等で軟化して陥没したりと、通常の使用状態では起こりえない事故が散見されるようになってきました。

このような不測の事故を防止するため、当協会では、平成21年3月に「プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針(案)」を発刊し、その中で、点検口人孔の蓋に、樹脂製雨水貯留槽が埋設されていることを明示し、注意を喚起するよう指導しています。

樹脂製雨水貯留槽専用マンホール蓋には、別刷りのチラシのとおり、**過積載や火気に対する注意を促す表示**を中央部に配置し、併せて、**施設の規模(タテ×ヨコ)や設置年月が確認**できるよう、ナンバーキャップを取り付けられる工夫を施してあります。

今後更に、設置数の増加が見込まれる樹脂製雨水貯留槽を、安全且つ安心してお使い戴くために、当該蓋を設置するよう御願い致します。

※本件に関するお問い合わせは下記宛御願ひします

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-7-1 半蔵門村山ビル

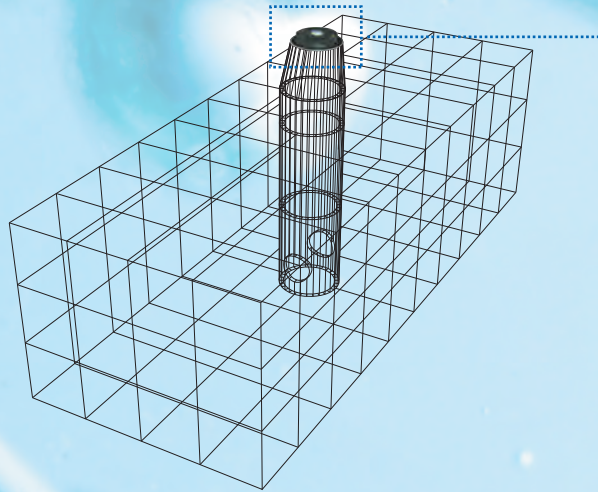
社団法人 雨水貯留浸透技術協会

TEL:03-5275-9591 FAX:03-5275-9594

樹脂製雨水貯留槽専用 マンホールふた

ARSIT-600

樹脂製雨水貯留槽専用マンホールふた ARSIT-600 は、施設のサイズや設置年月日などが表示できる管理ナンバーキャップによって維持管理の効率を高めるとともに、雨をイメージした表面デザインにより、雨水施設への親しみやすさにもつながります。



貯留槽の安全に配慮

プレートには「過積載・火気禁止」の文字を表示し、貯留槽本体の安全に配慮しています。

管理ナンバーキャップに対応

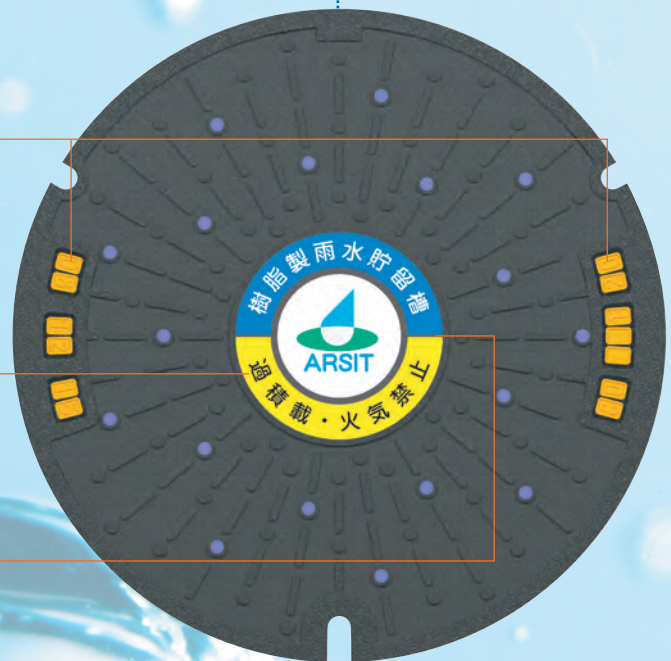
両サイドには施設のサイズや設置年月日の情報表示が可能な管理ナンバーキャップが取り付けられるため、維持管理の効率が高まります。

親しみやすい表面デザイン

雨をイメージしたデザインで、雨水施設が設置されていることが直感的に分かり、雨水施設への親しみやすさにつながります。

読みやすい情報表示

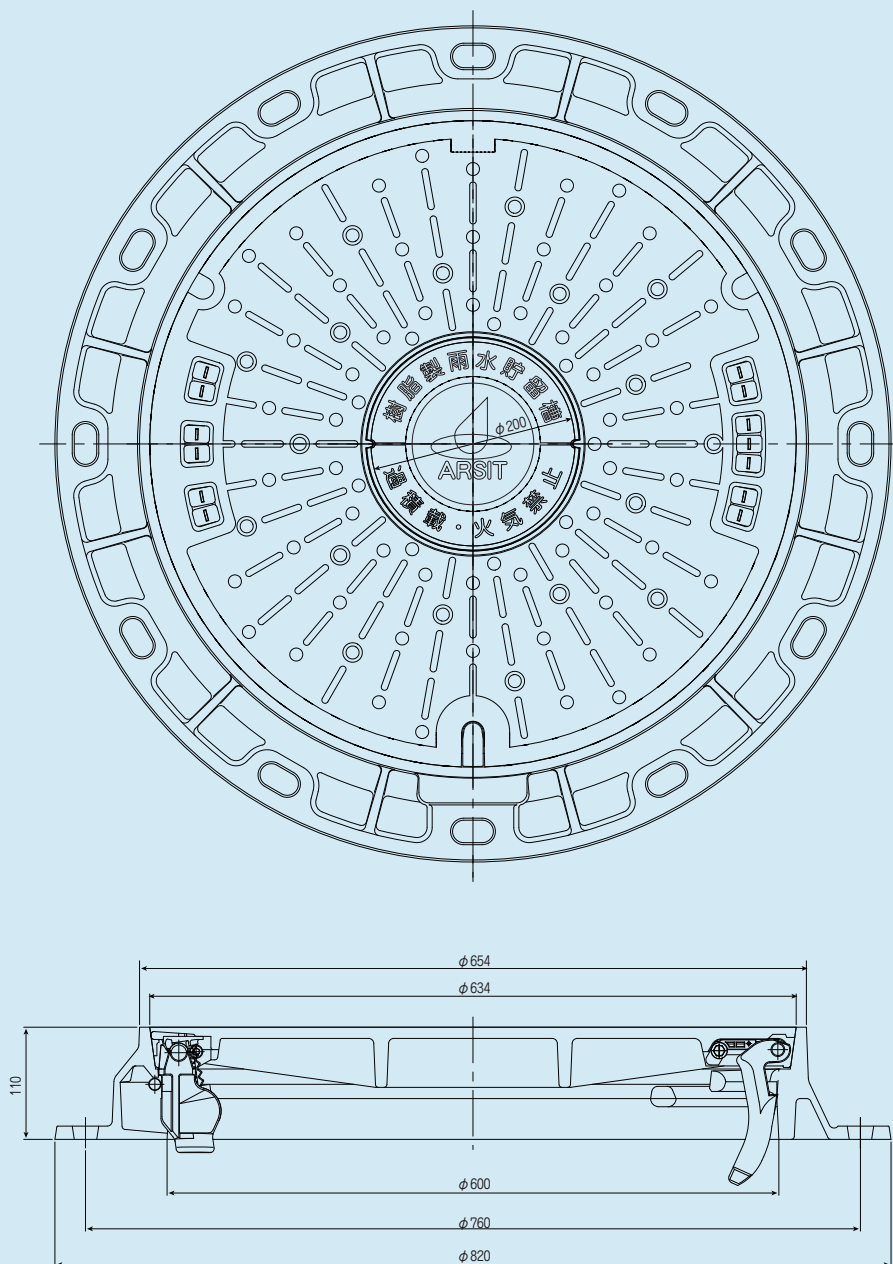
情報表示部には文字の再現性が高いプレートを使用しているため、鋳鉄で成形された従来のふたに比べて読みやすく、さらに表示文字には UD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用して、読みやすさを追求しました。



プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針(案) 適合品



寸法図



●荷重仕様：T-14

社団法人 雨水貯留浸透技術協会

事務局 / 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-1 半蔵門村山ビル5階
TEL: 03-5275-9591 FAX: 03-5275-9594
URL: <http://www.arsit.or.jp>

お問い合わせ先

(記載された内容は2009年7月現在のものです)